

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 17 日 (2006.8.17)

【公表番号】特表 2005-532445 (P2005-532445A)

【公表日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報 2005-042

【出願番号】特願 2004-519003 (P2004-519003)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 3 日 (2006.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水、揮発性有機溶媒、および多官能性（メタ）アクリレートを実質的に含まないインクジェットインクであって、少なくとも 1 種の単官能性（メタ）アクリレートモノマーと、少なくとも 1 種の α - 不飽和エーテルモノマーと、少なくとも 1 種のラジカル光開始剤と、少なくとも 1 種の着色剤と、を含み、25℃で 50 mPa・s 未満の粘度を有するインクジェットインク。

【請求項 2】

多孔性基材に印刷するのに好適である、請求項 1 に記載のインクジェットインク。

【請求項 3】

重量基準で 1 部の α - 不飽和エーテルモノマーに対して 2 ~ 15 部の単官能性（メタ）アクリレートモノマーを含む、請求項 1 または 2 に記載のインクジェットインク。

【請求項 4】

前記単官能性（メタ）アクリレートモノマーが、アクリル酸のエステル、たとえば、アクリル酸オクチル、アクリル酸デシル、アクリル酸イソボルニル、フェノキシエチルアクリレート、テトラヒドロフリルアクリレート、2 - (2 - エトキシエトキシ)エチルアクリレート、およびそれらの混合物から選択される、先行する請求項のいずれかに記載のインクジェットインク。

【請求項 5】

前記単官能性（メタ）アクリレートモノマーが、50 ~ 95 重量%、好ましくは 60 ~ 80 重量%の量で存在する、先行する請求項のいずれかに記載のインクジェットインク。

【請求項 6】

（メタ）アクリレートモノマー対 α - 不飽和エーテルモノマーの比が 2 : 1 ~ 15 : 1 の間にあるという条件つきで、前記 α - 不飽和エーテルモノマーが、1 ~ 30 重量%、好ましくは 7 ~ 15 % 存在する、先行する請求項のいずれかに記載のインクジェットインク。

【請求項 7】

前記 , - 不飽和エーテルモノマーがビニルエーテルモノマーである、先行する請求項のいずれかに記載のインクジェットインク。

【請求項 8】

前記ビニルエーテルが、トリエチレングリコールジビニルエーテル、ジエチレングリコールジビニルエーテル、1, 4 - シクロヘキサジメタノールジビニルエーテル、エチレングリコールモノビニルエーテル、およびそれらの混合物から選択される、請求項 7 に記載のインクジェットインク。

【請求項 9】

前記光開始剤が、ベンゾフェノン、1 - ヒドロキシシクロヘキシルフェニルケトン、2 - ベンジル - 2 - ジメチルアミノ - (4 - モルホリノフェニル)ブタン - 1 - オン、ベンジルジメチルケタール、ビス(2, 6 - ジメチルベンゾイル) - 2, 4, 4 - トリメチルペンチルホスフィンオキシド、またはそれらの混合物から好ましくは選択されるラジカル光開始剤である、先行する請求項のいずれかに記載のインクジェットインク。

【請求項 10】

前記光開始剤が、インクの 1 ~ 20 重量%、好ましくは 4 ~ 10 重量% 存在する、先行する請求項のいずれかに記載のインクジェットインク。

【請求項 11】

着色剤として分散性顔料を含む、先行する請求項のいずれかに記載のインクジェットインク。

【請求項 12】

前記分散性顔料が、インクの 0.5 ~ 15 重量%、より好ましくは 1 ~ 5 重量% 存在する、請求項 11 に記載のインクジェットインク。

【請求項 13】

先行する請求項のいずれかに記載のインクジェットインクを使用する、インクジェット印刷方法。

【請求項 14】

印刷が多孔性基材上に行われる、請求項 13 に記載の方法。